

行政視察報告書

令和 1年 11月 | 日

長浜市議会議員 西 邑 定 幸 様

長浜市議会議員

藤井登



私が出席した次の行政視察の結果について報告します。
記

1. 視察等名 令和元年度 清流 行政視察研修
2. 視察期間 令和元年 10月 21日 (月) ~ 10月 23日 (水)
3. 視察場所及び目的
 - ① 北海道札幌市
「家庭医療について」
 - ② 北海道札幌市
「放射線治療でできること」
 - ③ 北海道夕張市
「映画による町おこしについて」
 - ④ 北海道芽室町
「コンビニ、小さな拠点づくりについて」
 - ⑤ 北海道芽室町
「芽室町議会の取り組みについて」

・視察の目的

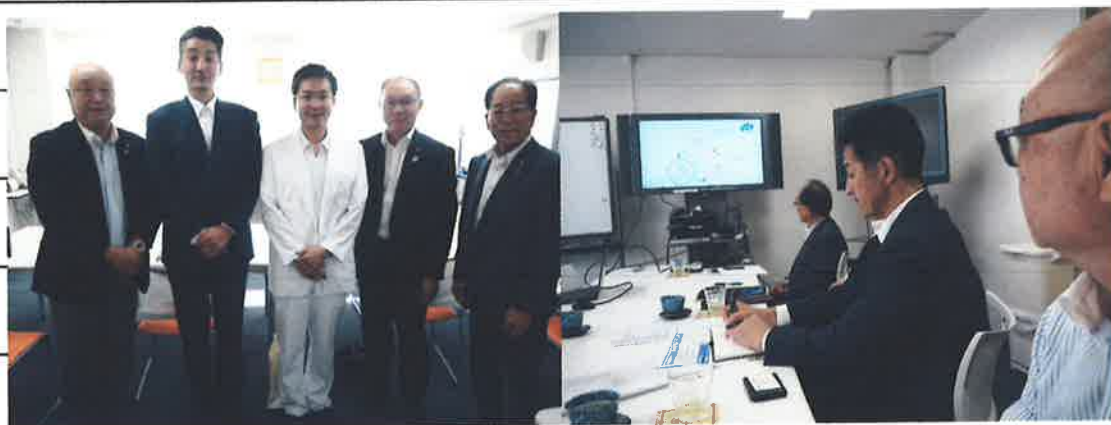
- ① 高齢化に向けての家庭医療の重要性を鑑みその知識を身につけること。
- ② がんの3大治療である、外科的治療・内科的治療・放射線治療の1つ放射線治療についての知識を得ること。
- ③ 映画による町おこしとは何かを知る。
- ④ JA店舗の撤去に伴う地域運営の小売店舗再開の取り組みについて学ぶ
- ⑤ 議会改革度ランキング一位の芽室町の開かれた議会を学ぶ

・視察の内容

- ① 家庭医療について

家庭医療とは個々の地域や診療環境の中で家庭医に求められる医療のことです。家庭医が扱う健康問題は、日常的な病気・けがなど多岐にわたり、「包括的」に対応することが求められます。ただし家庭医が患者と向き合うとき、診療所の中だけにとどまるものではありません。病院の専門医や福祉・介護サービスなど、医療以外の幅広い領域と連携する必要があります。

また患者からの相談に対してよりよい橋渡しをするのも家庭医の重要な役割です。協力的なケアを行い、地域に根ざした継続的な医療を提供する。その中で患者・その家族との信頼関係の下で、一人ひとりに合わせたケアを提供するのが、今求められている医療の一つの形です。



② 放射線治療でできること

がん治療には、外科的治療（手術）内科的治療（抗がん剤治療）放射線治療の3つがあります。しかし、外科的治療・内科的治療は多くのがん患者に使われていますが、放射線治療は、欧米の40%程度しか使われていません。なぜなら、体調不良になったとき、放射線治療医のところに行く患者が少ないからです。ですから、内科・外科の医師は抗がん剤と手術によって、治療するケースがほとんどです。

しかし、放射線治療によって多くのがんが、外科的治療と同じかそれ以上の成績を出

しています。放射線治療によって治せるがんは、肺がん・前立腺がん・乳がん・頭頸部がん・食道がん・子宮頸がんなど。また進行したがんの痛みや出血など、がんに伴う症状の緩和にも、大きな役割を果たしています。

また放射線治療は、切らないので体に優しい、手術や抗がん剤に比べて治療費が安い。通院によつての治療ができるので生活や仕事への影響が少ない、がんとその周辺のみを正確に狙い撃ちするので体への負担が小さい、そんなメリットがあります。



③ 映画による町おこしについて

夕張は、北海道随一の炭鉱都市として栄え、一時は大小24の炭鉱、人口は約12万人を数えました。しかしエネルギー革命の後には衰退の一途。あいつぐ閉山最後の炭鉱は1990年（平成2年）に閉山しました。

人口の流出に歯止めをかけることができず、観光振興などに対する赤字補填によつて、財政状況は著しく悪化した結果、2007年（平成19年）財政再建団体となり、財政の健全化に取り組むことになりました。

2017年（平成29年）からは、財政再生計画の抜本的な見直しを行い、これまでの財政再生を継続しつつ、地域再生に向けた新たな取り組みを始めています。その一環に映画による町おこしがあります。

シネマロードという通りがありありますが、住んでいる人はほとんどおらず、ペンキのはげた看板だけが、寂しげに立てられていました。

しかし『幸せの黄色いハンカチ思い出ひろば』には、多くの観光客が訪れていました。そこは 1977 年公開、第 1 回日本アカデミー賞最優秀作品賞をはじめ多くの国内映画賞を受賞した名作『黄色いハンカチ』の感動のラストシーンのロケ現場です。



④ コンビニ、小さな拠点づくりについて

平成 30 年 3 月 13 日に地域住民の意向を受け、農協撤退後店の存続などの地域課題を解決するため、特定非営利活動法人 上美生を設立。地域住民からの理事 10 名、監事名を募るとともに、会員と寄付を募集しました。寄付金約 500 万円、会員 154 名が集まりました。

上美生地区は、良質な水と肥沃な土地に恵まれ、畑作や酪農を基幹産業とし、豊かな自然環境と広大な農村景観を求めて移住者も多く、山村留学などの地域独自の受け入れ等を行っています。

しかしながら、少子高齢化の進展は上美生地区でも例外ではありません。様々な地域課題に住民が一丸となって取り組んでいくことが求められています。

地域の自立が求められるこれからの時代、住民が主体となって、住民自らが地域課題

の解決に取り組む活動を持続的に行っていかなければなりません。



⑤ 芽室町議会の取り組みについて

北海道東部の十勝平野にある小さなまち・芽室町。人口2万人足らずの農業のまちが、議会改革で脚光を浴びています。まちは帯広市の西隣にあり、スイートコーンの生産量は全国一。日高山脈を望む市街地を離れると雄大な農村風景が広がり、全長9.2kmに及ぶ国内最長の防風林があります。

タブレット導入問題、議員報酬や常任委員会を在り方についての問題、議案ごとの各議員の賛否を広報やネットで公開する問題、町民10人に「議会モニター」を委嘱。議会にももの申す役割を担ってもらったそうです。芽室町議会の改革の2大柱は「町民参加」と「公開」です。議会は、議案を粛々と可決していくだけの「追認議会」からの脱却も図っています。その結果、早稲田大マニユフェスト研究所による全国の議会改革度ランキングで芽室町が14年全国1位になりました。まちな原案を可決しなかった例はこの3年間で6件。「政策論争の結果。議会が活発になった表れ。」とのこと。



・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか。

- ① 本市においても高齢化が進み、在宅でのケアがますます多くなることが予想されます。個別のケアを長期間行うことにより地域全体が抱える健康問題が見えてきます。その地域の環境自体が一人暮らしの高齢者をフォローできるかどうかという問題に変わってきます。そうなると家庭医一人では限界があるので、個人医院の医師には、家庭医の役割を担っていただき、本市の行政機関と連携していく必要があると考えます。
- ② 本市において放射線治療医は2人しかおらず、まだまだ市民には放射線治療について周知徹底されているとはいえません。近年SDM (Shared Decision Making) の考え方が主流になりつつあります。その意味からも治療方法を自分で選べるような啓発活動をより進めていく必要があります。
- ③ 本市における90カ所以上ある観光スポットを、観光客が多く来ている箇所とそうでない箇所の動線を引いて、それぞれテーマを設け一体として観光客に捉えていただけるようにしていきたいと考えます。
- ④ 人口の少ない地域において、店舗経営を住民に託した場合、地域住民との意見交換など十分に議論を重ね、地域を巻き込む努力をすることが必要です。本市におい

ても、同じケースの場合、上美生地区を参考に対応していきたいと思います。

- ⑤ 本市においても政策においては、是々非々で議論を積み上げ、よりよい長浜市になるよう、また理解していただける議会運営をしていきたいと思います。